

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		平成 25 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		1 3ATブロワーのインバーター化により、電力使用量を削減した。 2 B 酸燃焼炉の設備・操業改善により、重油使用量を削減した。					
温室効果ガスの排出の量の削減実績	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (平成 22 年度)	目標年度 (平成 25 年度)	対基準 年比 (%)	実施年度 (平成 25 年度)	対基準 年比 (%)
		■ 温室効果ガス 排出量 A	(二酸化炭素換算(t)) 321, 123t - CO ₂ ①	(二酸化炭素換算(t)) 319, 600t - CO ₂	99.5	(二酸化炭素換算(t)) 350, 207t - CO ₂ ②	109.1
		□ 原単位排出量 A/B					
		温室効果ガス排出量と 密接な関係を持つ値 B					
	温室効果ガスの吸収等	区 分	実施年度(平成 年度)				
			取組量等		二酸化炭素換算(t) ③		
		□ 森林の整備等	(整備面積等)	ha	(吸収量)	t - CO ₂	
□ グリーン電力 の購入	(購入量)	千 kWh	(削減量)	t - CO ₂			
対照値	基準年度 ① (平成 22 年度)	実施年度 (②-③) (平成 25 年度)		対基準年度比 (%)			
	321, 123 t - CO ₂	350, 207 t - CO ₂		109.1			
特記事項		<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林保全活動として、社有地に於いて 1.0ha の緑化を実施した。 ・ 中国電力の CO₂ 排出係数に H24 年度実績の 0.738t-CO₂/千 kWh を用いて H25 年度分を算定したが、基準年度 (H22 年度) は 0.628t-CO₂/千 kWh であり、これを適用すると 24,024t-CO₂ 減の 32,6183t-CO₂ となり、対基準年度比は 101.6% となる。 					
備考		基準年度に比較して中国電力の CO ₂ 排出係数が増加したとともに、生産量も 5 % 程度増加した。並行してエネルギー削減に取り組んだが、増加分を吸収できるまでには至らず、結果として基準年度の二酸化炭素排出量を上回ってしまった。					

(注)

- 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。
- 「備考」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できなかった理由を含む。）を記入すること。